

市議会 さかいで だより

第 139 号
 平成23年8月1日
 発行 坂出市議会
 編集 議会だより編集委員会
 TEL 0877-44-5022



沙弥島海水浴場の海開き

6月定例会

6月定例会は、6月9日から28日までの20日間にわたって開催されました。

今定例会では、長寿祝金の支給対象者や支給額を来年度から変更するための坂出市長寿祝金条例の一部を改正する条例案を初め、坂出港改修工事の請負契約や総額5,316万3,000円を追加する平成23年度一般会計補正予算案等7議案が提案され、各常任委員会の審査を経て、いずれも原案のとおり可決しました。

また、最終日には、本市初めての女性委員1名を含む4名を坂出市農業委員会委員に推薦しました。

主な掲載内容

一般質問	2~6
議案審議結果	6
委員会の動き	7
表彰式の授与	8

一般質問

市政について聞きました

6月定例会では、6月16日、17日、20日の3日間にわたり個人による一般質問が行われ、8名の議員が市の諸課題について質問をしました。主な内容は次のとおりです。

～質問の主な項目(質問順)～

齊藤 義明(市民の声)

- ・市長の政治姿勢について
- ・行財政改革実施計画について
- ・地域活性化について

村井 孝彦(市民グループ未来の会)

- ・市長の政治姿勢について
- ・危機管理対策について
- ・農業行政について

野角 満昭(日本共産党議員会)

- ・東日本大震災が提起した防災上の問題点と本市の対応について
- ・交通行政について
- ・子育て支援策について

若杉 輝久(公明党議員会)

- ・防災対策について
- ・買い物弱者を支えていく施策について
- ・空き家、廃屋対策について

末包 保広(新政会)

- ・東日本大震災の与える影響、教訓について
- ・福祉行政について
- ・地域の活性化について

出田 泰三(市民の声)

- ・人口増対策について
- ・市制施行70周年を迎えるに当たって
- ・町づくりについて

茨 智仁(新政会)

- ・市長の政治姿勢について
- ・道路行政について
- ・教育行政について

山条 忠文(同志会)

- ・市長の政治姿勢について
- ・下水道行政について
- ・環境行政について

なお一般質問の詳細や過去の質問は、市議会ホームページの会議録検索システムでご覧いただけます。

(8月末に更新予定)

齊藤 義明 議員
(市民の声)

▼市長が最重点で取り組む政策は

問 市長が就任して2年が経過し、

その間、組織機構の再編や事業再検討の着手など、着実に実績を上げてはいるが、公約である「坂出に生まれてよかった。住んでいてよかった。」と市民が実感できるまでには、まだ遠い道のりがあると思う。

市長が公約の実現に向けて、残り2年間の任期中に最重点に実行しようと考えている政策は何か。

答：市長

平成24年4月に坂出小学校新校舎が落成し、現小学校敷地を活用して新市立病院の建設に着手します。

また、平行して現病院敷地の利用計画の検討や本庁舎の建て替え問題も加え、これら一連の公共施設の再整備及び土地利用計画について、財政面に与える影響も含めて、私の任期中に一定の方向性を示しておくべきものと認識しています。

また、来年は市制施行70周年の記念すべき年を迎えます。記念行事等の内容はこれから検討しますが、単発の事業で終わらせず、にぎわいのある町づくりにつなげていきたいと考えています。

▼行財政改革実施計画に実施時期と数値目標を明記すべき

問 本年度から5カ年の取り組みを定めた行財政改革実施計画には、63

のテーマが挙げられている。

職員の研修や意識改革等のテーマは、数値目標の設定が無理でも、それ以外のものは、すべて実施時期と数値目標を明記すべきではないか。

答：総務部長

実施時期については、実施年度が未定のものや見直しを行った場合にも、さらなる見直しに向けた検討を常に継続しなければいけない事項は「検討」と、また一定の見直しを達成したものの、行革推進の観点から引き続き、手法改善等の取り組みが必要と判断した事項は「継続」と掲載しているものです。

また、数値目標の設定については、地方自治体の業務は経済動向はもとより国政いかにより大きく影響を受け、独自の判断が困難な場合も多くありますが、公債費の負担適正化とともに行革の大きな柱である職員数の適正化については、明確に目標を掲げ、着実に推進しています。



村井孝彦議員
(市民グループ未来の会)

▼シティセールス推進の取り組みは

問 ぎわいの創出と活性化には、四国の玄関都市としての交通の要衝、企業誘致のできる番の州工業地帯や重点港湾坂出港等の本市が持つ魅力を、積極的にシティセールスとして打ち出すべきではないか。

答…市長

本市に新たな活力を作り出し、安全・安心と魅力ある町づくりを実現していくためには、観光・ビジネス・歴史・文化等の各分野において、本市の魅力を市内外に効果的、戦略的に情報発信していくシティセールスの展開が求められています。

すなわち、今後、本市が目指す都市像を実現していくためには、坂出市に住みたい、訪れたい、ビジネスをしたいと思わせる強い都市ブランド力を構築する必要があると考えています。

市長のトップセールスはもちろんのこと、議員の方々との協働も大変重要なことと捉えており、ともに市の施策を積極的に発信し、市民の理解を深め、施策展開を図ることが必要であると考えています。

▼危機監理室の役割強化を

問 4月の組織機構改革により危機監理室が設置されたが、危機管理を万全なものとするには、市長の指導の下、室長が統一的に監理、監督するよう組織機構が適切であると考えるが、市の考えは。

答…副市長

4月に誕生した危機監理室は、台風、豪雨、地震等の自然災害はもとより、国民保護法に基づく対応、新たな感染症やサイバーテロ等の市民や行政に対する危機を統一的に監理するために設置した部署です。

なお、いずれの部署においても、あらゆる種類の危機が存在するものであり、危機監理室を設置したことにより行政の危機管理が万全となったものとは考えていません。

すべての部署において、常に危機に対する管理体制と意識が必要であり、組織間の連携や横断的取り組みを強化するとともに、すべての職員が不測の事態にも的確な対応が取れるよう常に研鑽を重ねていきます。



新設された危機監理室

野角満昭議員
(日本共産党議員会)

▼地域防災計画見直しの考えは

問 本市の地域防災計画における地震、津波の被害予測はどうなっているのか。また、東日本大震災を受けて想定条件の見直しをどのようにして進めていくのか。

答…総務部長

南海地震(M8.4と予測)による本市の被害予測は、建物の全倒壊778棟、半壊1,870棟、人的被害は、死者10人、負傷者417人、罹災者3,452人、避難者は1,036人。

また、津波高は0.6mから1.0m、津波浸水面積約11km²、床上浸水4,690棟、床下浸水2,714棟、浸水域の人口は、9,534人等と予測しています。

答…副市長

坂出市地域防災計画における地震津波等の想定条件の見直しについては、市町村レベルでさまざまな検討を行うことには限界があることから、今後の国・県、研究機関等の検討結果を踏まえ、本市計画の見直しに的確に反映していきたいと考えています。

▼デマンド型乗合タクシーを市内全域で導入しては

問 10月から西庄、府中地区でデマンド型乗合タクシーの一部運行実施が予定されているが、市内には路線バスの地域であっても停留所まで遠くて、歩くことができない高齢者がいる。地域や市民の意見を取り入れて市内全域で導入できないか。

答…市民生活部長

本市としては、地域公共交通総合連携計画に基づき、順次整備していく予定であり、市内全域にデマンド型乗合タクシーを導入する計画はありませんが、今後公共交通空白地域へのデマンド型乗合タクシーの導入のほか、坂出駅を中心とした病院、公共施設、商業施設等を回る循環バスの導入、また既設バス路線の充実、複雑な路線の見直し、最終便の時間延長、フリー乗降の導入等により、高齢者等が利用しやすい環境づくりを努めていきます。



まんのう町のデマンド型乗合タクシー

若杉輝久議員
(公明党議員会)

▼被災者支援システムを導入しては

問 東日本大震災後、災害時に世帯ごとに犠牲者の有無、家屋の状況、避難先、罹災証明書の発行、義援金の交付や救援物資の管理等、被災者支援に必要なデータを一元的に管理できる被災者支援システムの必要性への認識が高まり、導入する自治体が急増している。

本市においても、同システムを導入する考えはないのか。

答：副市長

西宮市が開発した被災者支援システムについては、被災地の地方公共団体しか得られないような災害時の教訓を織り込んだシステムとして全国の地方公共団体に無償で提供されており、導入団体から有効なシステムであると評価されています。

今後は、同システムを管理している被災者支援システム全国サポートセンターへ使用申請を行い、このシステムをダウンロードして試験的運用を行う中で、本市における電算システム構築や個人情報保護等の問題の検証を行い、導入に向けた検討を行ってまいります。

▼買い物弱者への支援策を

問 全国的に高齢化や人口減少等により、身近にあった商店の閉店やスーパーが撤退し、食料品や日用品等の日常の買い物に不自由する高齢者が増加している。

そこで、本市における買い物弱者の現状と支援策の考えは。

答：建設経済部長

本市においても、郊外型大型店舗との競争激化や後継者問題等により、市内の商店街や近隣の身近な商店は、年々減少傾向にあります。

これにより、気軽に買い物ができる場所を失い、自動車や公共交通機関を利用して遠方の商業施設まで出かけているのが現状であり、本市においても、多くの買い物弱者が存在しているものと考えています。

本市としても、買い物弱者への支援策として、商品の宅配や買い物先へ行きやすくする方法について、商工会議所や各商店街等と連携しながら、有効な施策を検討してまいります。



末包保広議員
(新政会)

▼デマンド型乗合タクシーの運行計画の十分な検討を

問 デマンド型乗合タクシーの運行は、多くの市民が待ち望んでいたものであるが、計画では、西庄、府中地区と坂出駅を結び、運行は月曜から金曜の1日4往復で、利用者は指定された乗り場まで行く必要があることや、循環バスがないため、坂出駅まで行っても、病院や商業施設へは歩くか、さらにタクシーの利用が必要であるなどの課題がある。

試験運行を成功させるため、運行計画を十分に検討すべきではないか。

答：市民生活部長

循環バスの導入については、10月からのデマンド型乗合タクシーの運行状況を見ながら、市街地における循環バスの導入時期や路線バスの再編等について順次検討したいと考えています。

西庄、府中地区において、デマンド型乗合タクシーを試験的に運行する中で、利用者の意見を聞き、改善できるところについては改善しながら、持続性のあるデマンド型乗合タクシーを目指したいと考えています。

▼公共施設に緑のカーテンを

問 今夏は、震災の影響により、特に節電意識が高まっている。

施設の壁面をアサガオやゴーヤ等で覆い、日除けにする緑のカーテンは、温度差の割に節電効果が高く、また緑の清涼感で人々の気持ち落ち着かせることから、公共施設に緑のカーテンを取り入れてはどうか。

答：総務部長

本市においても、地球温暖化防止の取り組みの一環や震災の影響による夏場の電力不足が懸念される状況を踏まえ、庁舎の冷房機器の使用を必要最小限度に留めるなど電力使用量の削減に努めているところです。

ご提案の緑のカーテンについては、一定の温度抑制効果が高いと聞いており、今後検討してまいります。

答：教育部長

緑のカーテンは、環境教育の観点からも重要であり、市内では、幼稚園5園、小学校4校、中学校1校が取り組んでいます。



府中保育所の緑のカーテン

出田 泰三 議員
(市民の声)

積極的な人口増対策を

問 人口増対策を柱にした施策の実行こそが、坂出再生の鍵を握っているといっても過言ではない。

2年前に「人口を増やして元気な坂出を取り戻す」を公約に掲げて、当選した市長の決意を改めて示せ。

答：市長

現状においては、本市の人口の減少に歯止めがかかっているとは言えない状況ですが、昨年実施した国勢調査では、市街地に比較的近く交通の便の良い林田町や加茂町で若干ですが、人口が増加しています。

定住人口の増加には、雇用の確保が不可欠であり、これまでも企業誘致に向けた制度改正やトップセールスに努めてきたところです。

さらに側面的支援として、特許取得促進事業や高校生徒の資格取得費補助事業などにも取り組んでいます。

また、仲よし教室の時間延長等の特色ある施策も打ち出しており、さらに本市には優れた文化遺産が点在し、「古のロマンのまち・坂出」を提唱し整備することで、交流人口の増加、ひいては移住、定住に結びつきたいと考えています。

観光資源として讃岐富士を見直し、今後の町づくりを生かしては

問 近年の里山ブームで讃岐富士に登る人が中高年を中心に増えているが、川津町の登山口については、あまり知られていない。

讃岐を代表する名山を、先行する丸亀市と連携を取りながら盛り上げるために、本市も今後独自の観光振興策を検討すべきであるが、まず川津町の登山口に観光案内看板を設置してはどうか。

答：建設経済部長

通称讃岐富士と呼ばれる飯野山は、讃岐七富士の一つに数えられ、古くから香川県を代表するランドマークであり、本市にとっても大切な郷土の山であると認識しています。

また、身近な山としてハイキングコースなどで人気を集めているとともに素晴らしい眺望等、見所も豊富であることから、観光案内看板の設置も含め、県や近隣市町と連携しながら、本市の観光資源の一つとしてPRしたいと考えています。



讃岐富士 (飯野山)

茨 智仁 議員
(新政会)

大震災から思う心ある教育とは

問 今回の東日本大震災において、多くの犠牲者が出た私たちの国日本が、助け合いという点を改めて認識し、どう行動していくかが今後の大きな課題と考える。

教育長は、教育という立場から、その点をどのように考えているのか。

答：教育長

未曾有の被害をもたらした東日本大震災が、私たちに問いかけたものは、私たちがいかに支えあい、助け合うかということです。

現在の日本は、物質的に豊かな国を実現し、住みやすくなっているが、同時に社会や人との関わりが希薄になっていることも事実です。

こうした状況の中で、志をはぐくむ教育は、自分のためだけに生きるのではなく、人のため、社会のためにもなる生き方をすることを目指しています。つまり、つながり合い、助け合うことを大切にしている教育です。志をはぐくむ教育の実践を通して、園児、児童、生徒に支え合い、助け合う心情や態度を身につけさせ、郷土を支え、日本を支える子供の育成を目指しています。

新校舎への通学路の安全確保は

問 現在、旧西部小学校敷地に建設中の坂出小学校新校舎は、平成24年2月には完成し、4月には現校舎から全児童が移り、新生活が開始する。

そこで、児童の通学路について、いつ頃までに決定し、保護者への周知が行われるのか。また、学校周辺の危険箇所について、保護者や地域住民と協議する考えは。

答：教育部長

現校舎への統合の際には、学校、保護者を中心に、連合自治会や交通安全協会等の協力をいただき、地区ごとに通学路の危険箇所の調査・点検を実施し、警察等と現地調査や検討会を開催した上で、その調査結果をもとに登校体験計画を立案・実施しました。今回も前回と同様の点検を行い、これをもとに通学時の注意事項、課題点を検証し、保護者に周知したいと考えています。

通学路の安全確保については、関係機関とも連携しながら、不断に見直していきます。



山条忠文議員
(同志会)

▼府中町の産業廃棄物最終処分場の早期解決を

問 府中町の安定型産業廃棄物最終処分場については、平成20年に県外産業廃棄物の処理に関して、県に虚偽報告を行ったため、県より6月30日までに残存廃棄物の撤去を求める措置命令が出されている。

当該施設は、土地改良事業を兼ねていることから、地元地権者は非常に苦慮している。

市は、県に対し厳正な処分を求めるべきではないか。

答…市長

この土地改良事業は、県知事により非補助で認可されており、当事者間での問題解決を基本としています。本市としては、指導できる立場ではなく、県や警察の対応に任せざるを得ないことから、事態の速やかな解決を願っているところです。

今後は、撤去等の期限である6月末までの経過を見守る中、土地改良事業の事業主体の代表者等からの要望があった場合には、市としてのどのような対応が可能か研究し、県に要望していきたいと考えています。

▼下水道事業計画見直しの考えは

問 下水道事業計画を立てていく上で、人口問題は不可欠の問題であるが、国土交通省の人口推計では、2005年を100とすると50年後の日本の人口は75%に、さらに地方は42%になると推計している。

このような中で、後何年すれば本市の下水道は完成するのか。またどのくらいの予算がかかるのか。

答…建設経済部長

平成22年度末の下水道事業認可区域内における普及率は46.9%となっています。約4haの残事業整備に要する費用は16億円程度と考えており、また整備期間については現時点では明言できませんが、相当な期間を要するものと考えています。

問 下水道事業計画の見直しをする必要があるのではないのか。

答…建設経済部長

事業認可計画の見直しについては、計画変更により、下水道区域外となることに、地区住民の合意形成がなされ、地元から要望があれば見直しを検討していきたいと考えています。



平成23年6月定例会審議結果一覧

議案番号	件名	付託委員会	結果
	出納検査の結果報告書受理について		報告
	坂出市土地開発公社経営状況報告書受理について		報告
	坂出市学校給食会経営状況報告書受理について		報告
	専決処分事項の報告書受理について		報告
報告第1号	平成22年度坂出市一般会計予算繰越明許費計算書の報告について		報告
報告第2号	平成22年度坂出市下水道事業特別会計予算繰越明許費計算書の報告について		報告
報告第3号	平成22年度坂出市介護保険特別会計予算繰越明許費計算書の報告について		報告
議案第5号	坂出市立幼稚園保育料徴収条例の一部を改正する条例制定について	教育民生	原案可決
議案第6号	坂出市長寿祝金条例の一部を改正する条例制定について	教育民生	原案可決
議案第7号	坂出市福祉医療費助成条例の一部を改正する条例制定について	教育民生	原案可決
議案第8号	損害賠償額の決定および和解について	市民建設	原案可決
議案第9号	工事の請負契約について	市民建設	原案可決
議案第10号	工事の請負契約について	市民建設	原案可決
議案第11号	平成23年度坂出市一般会計補正予算(案)(第1号)	主査総消	原案可決
	坂出市農業委員会委員の推薦について		推薦
	議員派遣について		決定

委員会の動き

各常任委員会では、6月定例会で付託された7議案についてそれぞれ審査を行いました。主な内容は次のとおりです。

総務 消防

▼平成23年度一般会計補正予算案を了承

一般会計補正予算案の審査において、委員より、教育費国庫補助金の一部不採択により、市債の追加発行や財政調整基金の取り崩し等による財源置きかえを余儀なくされたことから、これから市立病院の新築や本庁舎建て替え等の事業を検討する中で、今後の財政運営に懸念を表し、見直しをただした。
当局からは、将来に過大な負担を残すことなく、最少の経費で最大の効果を上げることが基本方針とする行財政改革大綱等に基づいて事業を執行し、起債の発行残高を減少させる方針であり、今後とも財政健全化に鋭意努めていくとの答弁があった。
これに対し委員より、市民サービスの低下を来さないように十分に配慮しつつ、より一層行財政改革に取り組み、財政健全化を推進していくよう要望があり、異議なく了承した。

教育 民生

▼長寿祝金条例の改正案を了承

当局から、長寿祝金条例の改正については、昨年度実施した事業再検討会及び行財政改革推進委員会の評価結果並びに他市の状況を踏まえ、来年度から長寿祝金の支給対象者及び支給額の見直しを行うものであり、本年度の長寿祝金の案内はがきに制度改正の説明を記載するほか、広報紙や各種会合等を通して、市民に周知徹底を図っていききたいとの説明があった。

これに対し委員より、高齢者の十分な理解を得るには、単に財政面の利点に終始せず、本市のさらなる高齢化を見据える中、施策全体との比較考量の結果、やむを得ないものであることを丁寧に説明すべきであり、多年にわたり社会に尽くしてきた高齢者への福祉施策が全体として後退することのないよう要望があり、審査の結果、異議なく了承した。

市民 建設

▼坂出港西埠頭地区改修工事の見直しは

坂出港西埠頭地区における岸壁築造工事の請負契約の審査において、委員より、坂出港改修事業全体の見直しについて説明を求めたところ、当局からは、今後発生が危惧される大規模地震に備え、震災時の緊急物資等の輸送拠点として耐震岸壁を早急に整備する必要性があることや、岸壁利用者への影響を最小限に抑えるため、海上工事を平成25年度までの3カ年としていくことから、東日本大震災の影響により国庫補助金の配分見通しが不透明な状況であるが、国の動向に注視しつつ予算確保に努め、計画期間内の完成を目指したいとの答弁があった。
関連して委員より、震災時に当該地区の機能を有効活用するため、西埠頭地区への唯一の進入路である築地橋の耐震化を県に働きかけるよう要望があり、異議なく了承した。

会議日程

◆6月定例会

9日	本会議(提案説明)
委員会(議会運営)	
1413~10日	休会
1413日	本会議
1615日	(議案質疑・委員会付託)
1716日	委員会(議会運営)
1817日	休会
1918日	本会議(一般質問(個人))
2019日	委員会(議会運営)
2120日	委員会(総務消防)
2221日	委員会(教育民生)
2322日	委員会(市民建設)
2423日	休会
2724日	議員総会
2827日	本会議(委員長報告)
	(質疑・討論・採決)

視察来庁記録

5月	18日	大阪府吹田市 (企業立地優遇制度)
7月	5日	東京都西東京市 (包括外部監査・事業再検討)
	8日	静岡県富士宮市 (都市計画の見直し)
	12日	三重県鈴鹿市 (都市計画の線引き廃止)
	13日	愛知県津島市 (市立病院の経営状況)

坂出市公式ホームページ内「坂出市議会」をリニューアルしました。

NEW

ぜひご覧ください。



議会

- ・議会のあらまし
- ・議会の日程
- ・審議結果
- ・傍聴のご案内
- ・請願・陳情
- ・議会だより
- ・会議録検索システム

議員

- ・議長あいさつ
- ・議員
- ・議員名簿
- ・委員会名簿
- ・会派

坂出市議会ホームページアドレス <http://www.city.sakaide.lg.jp/cityoffice/gikai/index.html>

永年勤続議員表彰

第87回全国市議会議長会定期総会において、永年勤続者として本市議会から2名が、また第73回四国市議会議長会定期総会において、同じく本市議会から12名がそれぞれ表彰されました。

全国市議会議長会表彰

特別表彰

議員在職40年以上

葛西吉 藤川巨弥

四国市議会議長会表彰

特別表彰

議員在職40年以上

葛西吉 藤川巨弥

議員在職32年以上

富岡利昭

議員在職28年以上

東山光徳

議員在職24年以上

稲田茂樹

議員在職16年以上

木下哲清

議員在職12年以上

別府健二

一般表彰

議員在職8年以上

野角満一 吉田耕一 大前寛乘 植條敬介

暑中お見舞い申し上げます

公職選挙法の趣旨に基づき、暑中見舞いなどのあいさつ状を廃止しておりますので、紙上をもってごあいさつにかえさせていただきます。市民皆様のご健勝をお祈りいたします。

坂出市議会議員一同



6月定例会で推薦決定した人事案件

(敬称略)

◎坂出市農業委員会委員

齊藤義明 木下清 東山光徳 猪熊由利子

編集後記

6月定例会は、市議会議員一般選挙後最初の定例会開催であり、新人議員を迎えた程よい緊張感の中、議案審議また一般質問が行われました。

さて、開会前の議会運営委員会では、中河議長から議会改革と議会基本条例制定に向け、調査研究するよう諮問がありました。私たち議会は、自己責任、自己決定の原則に基づき文字通りの自治の一翼を担っています。今後市民参加と情報公開を進め、議会としての役割を一層果たしていかなければなりません。

議会だよりにつきましては、市民の皆様にも多くの情報をお知らせする重要な役割を担っており、更なる充実した広報紙となるよう検討してまいります。

今年も暑い夏となりました。市民の皆様方には健康には十分ご留意され、この夏を無事過ごすことができますよう心より祈念いたします。

(植條敬介)

議会だより編集委員会

委員長 植條敬介 副委員長 末包保広 委員 出田泰三 松成国宏